

介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

保険者名 秦野市 R2.5.1作成

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	平均比較									全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
				自保険者			都道府県平均			全国平均						
				H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1				
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(年報時点)	13.5	13.7	14.0	16.8	17.2	17.6	18.0	18.3	18.4	・認定率、調整済み認定率、調整済み軽度認定率は、全国平均、都道府県平均を下回っている。	総合事業への移行により、軽度認定率が低くなり、その結果、認定率自体が低下し、重度認定率が高くなったと考える。	A4高齢者の年齢構成 75歳未満 本市 59.1% 神奈川県 54.4%	現在は、総合事業を展開することにより、軽度認定率を低く抑えられている傾向にある。今後年齢を重ねることに高齢者が重度化すると予想されるので、若いうちから外出や運動をする習慣をつけ、重度化を抑制することが重要であると考える。またそれとともに、高齢独居世帯が増えるは、さらに重度化を加速する可能性があるため、家族や地域で支え合う環境づくりを進めていく。
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(年報時点)	15.3	16.1	16.2	17.3	18.1	18.4	17.2	18.0	18.3	・調整済み重度認定率は全国平均、都道府県平均を上回っている。	若い高齢者が多いため、軽度認定率が低くなったのでは。	A7-A 高齢独居世帯の割合 本市 9.4% 神奈川県 10.1%	
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(年報時点)	6.4	6.8	6.6	6.1	6.4	6.4	5.9	6.3	6.3		A8-A 高齢夫婦世帯の割合 本市10.6% 神奈川県9.4%		
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)(年報時点)	8.9	9.3	9.5	11.2	11.7	12.0	11.3	11.7	12.0		B5-A調整済み認定率 本市要支援 2.5% 神奈川県要支援4.9%		
				H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1				
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.8	2.8	2.8	・施設サービスは、全国平均を下回り、県平均を上回っている。 ・居住系サービスは県平均を下回り、全国平均を上回っている。 ・在宅サービスは、全国平均、県平均を下回っている。	認定率が低いため、相対的に低くなるはずだが、中重度認定率が高いため、施設サービスと居住サービスが平均程度となったと考える。	D2受給率(施設) 本市2.5% 神奈川県2.4%	中重度認定者を支える「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「看護小規模多機能型居宅介護」等の充実を図る。
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	1.3	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.2	1.3	1.3			D3受給率(居住) 本市1.4% 神奈川県1.6%	
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	7.0	7.2	7.5	8.5	8.7	8.9	9.9	9.6	9.8			D4受給率(在宅) 本市7.5% 神奈川県8.9%	
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	134,133	134,455	133,210	134,145	135,586	134,929	125,301	129,290	129,364				
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	121,542	121,142	120,785	121,141	122,148	121,416	114,918	118,578	118,648	・通所介護の回数及び月額額は、県平均を上回っている。	・通所介護の定員が多いため、利用日数と給付月額が多いのではないかと。	通所介護 本市0.093人 神奈川県0.073人	定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、小規模多機能型居宅介護、介護小規模多機能型居宅介護の充実を図る。身近なところで地域の通いの場を増やし、通所の利用を減らす。
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	58,224	60,760	60,229	62,265	64,521	65,505	61,591	67,508	68,758	・訪問介護の回数及び月額額は、全国平均、県平均を下回っている。	・介護老人保健施設が多く整備されているため、通所リハビリの利用日数と給付月額も多くなっているのではないかと。	老健 本市0.073人 神奈川県0.050人	
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	19.6	20.6	20.5	20.2	21.0	21.3	20.9	23.7	24.1				
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	80,456	81,639	82,859	71,722	73,828	73,905	74,021	81,634	82,453	・通所リハの回数及び月額額は、全国平均、県平均を上回っている。		通所リハビリ 本市0.045人 神奈川県0.021人	
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	9.8	10.2	10.5	8.8	9.4	9.4	9.2	10.7	10.8				
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	67,938	66,938	67,023	65,433	64,016	62,541	61,790	60,568	59,126		・小規模多機能型は整備が進んでいないため、利用日数と給付月額が少なくなっているのではないかと。	小規模多機能型 本市 通い0.002人 神奈川県 通い0.004人	
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	6.8	7.0	7.1	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.0				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	62,379	65,448	68,482	85,409	86,166	86,596	93,708	94,862	95,555	・短期入所生活介護の回数及び月額額は、県平均を下回っている。	・施設に併設している短期入所生活介護の施設がほとんどなので、利用日数と給付月額が少ないのではないかと。	市内短期入所生活介護事業所8事業所に対し、施設併設事業所は8事業所。	
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	7.5	7.8	8.1	9.9	10.0	10.0	11.5	11.6	11.6				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列(各年度3月時点、R1のみ最新月時点)	252,613	249,113	249,900	262,703	264,586	263,877	249,222	252,074	252,837				